

# 社会資本総合整備計画

あ い ち け ん お か ざ き し  
(愛知県 岡崎市)

平成23年2月18日

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

平成23年 2 月 18 日

計画の名称	1 道路交通の安全と円滑化及び沿道の環境改善による拠点的市街地の形成																															
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）					交付対象	岡崎市（愛知県）																									
計画の目標	鉄道駅周辺の都市機能が集積したエリアにおいて、道路交通の安全と円滑化に資する道路整備等を実施することにより、災害に強く、地域住民が安心して安全に生活でき、賑わいと活力ある「道路を中心とした都市空間」を創出する。そして、集約的都市構造の核となる拠点的市街地整備を形成し、歩いて暮らせるまちづくりを実現することで、沿道の環境改善を図る。																															
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地整備事業施行中の拠点的市街地における安心・安全生活エリアカバー面積を40.0ha（H23）から40.2ha（H27）に拡大</li> <li>市街地整備事業施行中の都市計画道路を整備し、歩行者のバリア等の解消率を57.3%（H23）から72.7%（H27）に拡大</li> <li>市街地整備事業施行中の環境改善率（使用収益開始率）を78.6%（H23）から98.2%（H27）に拡大</li> </ul>																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害等に対して備えのできた安全・安心生活エリア（整備された幅員6m以上の道路端から一定距離（概ね幹線道路：50m、区画道路等：30m）のエリア）を調査し、拠点的市街地における市街地整備事業施行面積の合計を算出する。</td> <td>40.0 ha</td> <td>40.1 ha</td> <td>40.2 ha</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>区域内の都市計画道路の歩道整備率（歩行者のバリア等の解消率）を算出する。 （歩道整備率）＝（歩道整備が完了した都市計画道路延長）／（区域内の都市計画道路延長）</td> <td>57.3 %</td> <td>64.2 %</td> <td>72.7 %</td> </tr> <tr> <td>区域内の環境改善率（使用収益開始率）を算出する。 （環境改善率）＝（使用収益開始面積）／（地区内の使用収益面積）（%）</td> <td>78.6 %</td> <td>95.9 %</td> <td>98.2 %</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	災害等に対して備えのできた安全・安心生活エリア（整備された幅員6m以上の道路端から一定距離（概ね幹線道路：50m、区画道路等：30m）のエリア）を調査し、拠点的市街地における市街地整備事業施行面積の合計を算出する。	40.0 ha	40.1 ha	40.2 ha		区域内の都市計画道路の歩道整備率（歩行者のバリア等の解消率）を算出する。 （歩道整備率）＝（歩道整備が完了した都市計画道路延長）／（区域内の都市計画道路延長）	57.3 %	64.2 %	72.7 %	区域内の環境改善率（使用収益開始率）を算出する。 （環境改善率）＝（使用収益開始面積）／（地区内の使用収益面積）（%）	78.6 %	95.9 %	98.2 %
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																													
災害等に対して備えのできた安全・安心生活エリア（整備された幅員6m以上の道路端から一定距離（概ね幹線道路：50m、区画道路等：30m）のエリア）を調査し、拠点的市街地における市街地整備事業施行面積の合計を算出する。	40.0 ha	40.1 ha	40.2 ha																													
区域内の都市計画道路の歩道整備率（歩行者のバリア等の解消率）を算出する。 （歩道整備率）＝（歩道整備が完了した都市計画道路延長）／（区域内の都市計画道路延長）	57.3 %	64.2 %	72.7 %																													
区域内の環境改善率（使用収益開始率）を算出する。 （環境改善率）＝（使用収益開始面積）／（地区内の使用収益面積）（%）	78.6 %	95.9 %	98.2 %																													
全体事業費	合計 (A+B+C)	306 百万円	A	304 百万円	B	百万円	C	2 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.7%																					
<b>交付対象事業</b>																																
<b>A1 道路事業</b>																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考															
											H23	H24	H25	H26	H27																	
1-A-1	街路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	区画	改築	岡崎駅東地区（（都）岡崎駅平戸橋線外）	区画整理 A=40.2ha	岡崎市						304																
合計												304																				
<b>B 関連社会資本整備事業</b>																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																
										H23	H24	H25	H26	H27																		
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果																															
<b>C 効果促進事業</b>																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																
										H23	H24	H25	H26	H27																		
1-C-1	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市		岡崎駅東地区防犯灯整備	防犯灯 50箇所	岡崎市						2																	
合計												2																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果																															
1-C-1	岡崎駅東土地区画整理事業(1-A-1)にあわせ、区画整理の生活圏の防犯灯の整備を進めることにより、安全・安心なまちづくりを行う。																															

# 活力創出基盤整備

計画の名称	1 道路交通の安全と円滑化及び沿道の環境改善による拠点的市街地の形成	交付対象	岡崎市 (愛知県)
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)		

